

そばいたアジを干し網に入れて天日干しした(提供写真)

演

々の里

(岡市) 寄稿 ②

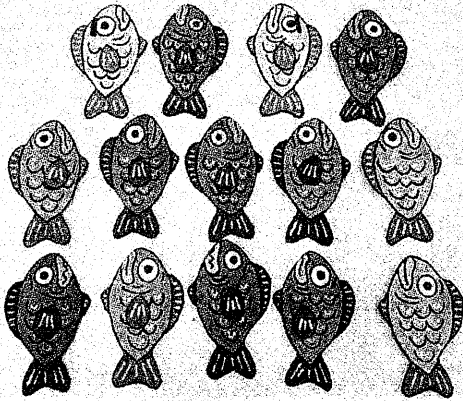
ミングで愛くるしい作品になっていきます。今回の会場は近くで見ただけなので、ぜひ小さな作品たちにも注目ください。
また、私が務める音楽制作もたくさん曲

を作っています。今回の会場は劇場ではないので、舞台照明を使うことができません。そのため音楽で臨場感を作ります。台本から風景や心情を読み取り作曲をします。ワクワク感や緊迫感、優しい気持ちなど。さまざまな思いを乗せて音楽が物語をさらに盛り上げていきます。
さらに和楽器奏者の重鎮、いらっしやる稲葉明徳さんにお力添えをいただき、厳かで神

し、そこから各避難所に徒歩やマイクロバス、自家用車で避難するという地域総出での

聖な神話の世界が完成していきます。誰も経験したことのない新しい日向神話の世界へみなさまをお連れいたします。ぜひ、しばしの舞台に心を委ねてお楽しみいただけたら幸いです。

延岡公演は延岡城・内藤記念博物館和室棟で21日午後5時半、22・23日午前10時半と午後1時半、同4時半の計7回。
高千穂公演は高千穂神社神楽殿で24日午後2時から。
開場はいずれも開演30分前。チケット(全席自由)は一般4千円、高校生以下2千円、膝上で鑑賞する未就学児は無料。小学生までは保護者同伴。
問い合わせは、々の里製作委員会(☎090・63613・856)まで。



海幸山幸のシーンに出てくる魚たち

週一回掲載



避難経路について 二日幸脇小



約200人が集った宮崎延友会1日、宮崎市宮崎観光ホテル

宮崎延友会「延岡へエールを」

宮崎市

約200人集い、再会喜び合う

だ。

「調査員」のメンバーである5年生の谷口遙斗さん、6年生の太田倅成さんと坂本瑞稀さんの3人で行いました。報告の初めに、市社会福祉協議会の加藤正憲さんが授業趣旨を説

宮崎市を中心とした、県央・県南・県西部に住む延岡高校の同窓会「宮崎延友会(平野亘也会長)が1日、宮崎市の宮崎観光ホテルであった。約200人が集い、懐かしい同級生との再会を楽しんだ。

コロナ禍以降、4年ぶりに通常開催となった昨年に続いて今年も大規模に開催。1984年卒の卒業生が実行委員会(牛ノ濱和秀実行委員長)を務め、校歌から引用した「今あらためて、うるわし延岡、輝く母校」をコンセプトに開いた。
懇親会は、昨年の宮崎延友会実行委員長の重黒木清さんによる乾杯の音頭で開幕。同校出身のシンガー・ソングライター、美穂蘭(本名・松田美穂)さんのミニライブもあった。牛ノ濱実行委員長は「延岡を離れた同窓生が年一回集まる場。ふるさと延岡、母校への思いを確認し、延岡へエールを届けることを続けられれば」と話した。

「調査員」のメンバーに置付けられた阪神淡路大震災から30年が経過し、地域防災は、「公助」だけではなく、「自助」そして「共助」の重要性を再認識する機会となっています。

光の

たのしかつた

延岡市立伊形小

小田

がんたんの目にかぞへ学校にいつたこあげさうまくあげられるかな。た。かぜがよわかったちゃんとおとうとごいさんはしりました。た。ときは、とてもうれしかおねえちゃんとりれむたいしながらあそんだかったです。またらいわていきたいです。

小() 申 協 さ